

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 1 チーム	担当課名	文化スポーツ課
事業番号	1-1	事務事業名	小中学校芸術鑑賞派遣事業

判定結果	拡 充 が 必 要
------	------------------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2	見直しが必要		① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		2	⑦ その他
1	現行どおり	現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。	
3	拡充が必要	2	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「拡充が必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 学校行事との調整も含めて、対象となる学校及び児童数をもっと拡充すべき。全体の予算配分の中で十分可能と思われる。</p> <p>② 平成21年度から平成22年度にかけて、実施希望校が減少した理由を究明し、今後の事業発展のため、検証してもらいたい。</p> <p>③ 小学校高学年から中学生の間に少なくとも全ジャンルの事業を1回は受けられるような規模にしてはどうか。</p>	<p>④ 全児童に同じく機会を与えるように努めて欲しい。</p> <p>⑤ 実施方法や目標の見直しをして、この事業をいつまでやるのかを明確にすべき。市の事業はきっかけづくりだと思う。</p> <p>⑥ 文化に対して市民との対話や長期的な展望について部署内で話し合って欲しい。</p>